

第 17 回新居浜市別子山地域審議会会議録

○日 時 平成 25 年 3 月 27 日（水） 18：30～19：25

○場 所 新居浜市別子山支所 会議室（1 階）

○出席者 地域審議会委員：福田正広委員、和田輝世伸委員、筒井衛委員、
近藤イクヨ委員、近藤利枝委員

行 政 側：田中企画部長、本田経済部長、関企画部総括次長、
横川経済部総括次長、田邊経済部次長、
藤田総合政策課副課長、鴻上運輸観光課課長

事 務 局：戸張所長、鈴木副所長、山本副所長、十亀係長、和田係長、
和田主査
(傍聴者) : 2 人

1. 開会

【戸張所長】

皆さん、こんばんは。

第 17 回別子山地域審議会に出席いただきまして、ありがとうございます。

審議会としては、最後の年度となりますが、本日は、合併に伴う別子山事業に関し、総合政策課から報告していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会長さんよろしくお願いいたします。

【福田会長】

皆さん、こんばんは。

本日は、第 17 回新居浜市別子山地域審議会の開催にあたり、地域審議委員の皆様、並びに行政の皆様には、お仕事帰りでお疲れのところ多数の御出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、行政の皆様方には、日頃より別子山地域の振興、発展並びに地域福祉の向上に、格段の御高配と御尽力を賜っておりますことに対しまして、この場をお借りしまして、厚くお礼を申し上げます。

それでは、ただいまから第 17 回新居浜市別子山地域審議会を開催いたしますが、初めての方もいらっしゃるようでございますので、委員さんから自己紹介を始めてしたいと思います。

(各自自己紹介)

ありがとうございました。
続きまして、市役所の皆さんにお願いいたします。

(各自自己紹介)

ありがとうございました。
続きまして、本日、新居浜市から御出席を頂いております皆様方を代表いたしまして、田中企画部長様から御挨拶をお願いいたしたいと存じます。

2. 挨拶

【田中企画部長】

本日は大変お忙しくお疲れの中、第 17 回別子山地域審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様方には、平素より市政全般にわたりまして御支援、御協力をいただいておりますことを、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、市では、2 月 25 日から 3 月 17 日まで定例市議会が開催され、平成 25 年度予算を中心に議案が審議されました。本議会におきまして、別子山地区に関連する事業であります別子山飲料水供給施設整備事業等を含めました平成 25 年度当初予算について、議決をいただいております。本日は、この平成 25 年度予算の状況や、事業の進捗状況などについて御説明をさせていただきたいと思っておりますので、御協議をよろしくお願いいたします。

【福田会長】

ありがとうございました。

本日の出席委員は 5 名でございます。従いまして、過半数以上の出席があり、「地域審議会を設置することに関する協議」第 7 条第 3 項の規程によりまして、本日の会議は成立いたしておりますのでご報告申し上げます。

なお、本日の会議の議事録署名人は、和田輝世伸委員さん、近藤イクヨ委員さんをお願いいたします。

次に、本日の議題でございますが、新市建設計画及び別子山関連分に係る「平成 25 年度予算状況について」及び「その他」となっております。

皆様方からの積極的かつ建設的な御意見が出され、本日の会議が、より実り多いものとなりますよう、御協力をお願い申し上げます。

それでは、第 1 番目の議題について、御説明をお願いいたします。

3. 報告

1. 平成 25 年度予算状況（新市建設計画及び別子山地区関連分）について

【藤田総合政策課副課長】

皆様こんばんは、総合政策課の藤田でございます。よろしくお願いたします。説明が長くなりますので座って説明させていただきます。

平成 25 年度の予算状況について御説明いたします。

平成 25 年度予算につきましては、企画部長の方から御挨拶がございましたが、市議会において審議され、3 月 22 日（金）に議決をいただきましたので、概要を説明させていただきます。

本日配布させていただいております資料は、『資料 1』別子山事業（経常経費）一覧（平成 25 年度）と『資料 2』別子山事業（施策）一覧（平成 25 年度）で、平成 25 年度の別子山に関する当初予算をまとめたものでございます。『資料 3』は新市建設計画掲載の別子山地区関連事業でございます。

まず、『資料 1』別子山事業（経常経費）一覧（平成 25 年度）をご覧ください。

『資料 1』は、人件費や建物の管理費のように、毎年、決まった支出が必要な経常経費予算一覧です。

平成 25 年度の経常経費の別子山分といたしましては、上段の資料中央に、「うち別子山地区分」と記載されている金額の部分で、それぞれ青色の数字 45 事業分の合計額 2 億 5,496 万 5 千円が別子山地区の総額となっております。

これに賄う経費としまして、基本的には新居浜市の一般財源の持ち出し分でございますが、No.25 の「ゆらぎの森管理運営費」につきましては、平成 23 年度より過疎債を活用しております。内容につきましては、後ほどお目通しください。

次に、『資料 2』をご覧ください。

別子山事業（施策）一覧でございます。政策を実施することに伴って必要になる経費で、担当部局ごとに No. 1 から No. 29 までございまして、平成 25 年度予算総額は、資料の一番下でございますように、合計 4 億 9,532 万 1 千円でございます。

これに賄う経費として、表中央の財源内訳ですが、県からの支出金が 704 万円、過疎債の肌色部分が 4 億 2,370 万円、別子山振興基金の緑色部分が 496 万 9 千円、使用料などのその他財源が 1,182 万 6 千円、新居浜市の持ち出し分一般財源として 4,778 万 6 千円となっております。事業内容につきましては、それぞれ表の右側でございますが、『資料 2』に基づき主な事業について簡単に御説明いたします。

資料 2 No.1 合併 10 周年記念事業費

別子山村との合併 10 周年を記念して行うもので、市全体での取り組みとするため、式典

関係は市民文化センターで、イベント関係の交流事業を別子山地域で行うことになっております。お手元の市政だより4月号の1枚目を御覧ください。

式典関係は、これまでの10年を振り返り、町おこしなど全国で活躍している方々、全国中小企業団体中央会理事長の眞鍋隆さん、矢沢加工所企業組合の塩原輝子さん、地域おこし協力隊の富田敏さん、ほか高見知佳さんにも参加をいただき、他市の取り組み例なども伺いつつ、新居浜市全体で活性化に取り組み気運を高めようとするもので、別子山未来予想プロジェクトと題しております。

5月6日月曜日、祝日子どもの日の振替休日に、文セン中ホールで13時30分から開催するものです。式典につきましては、10年前にタイムカプセルに入れた手紙の紹介等も行うことになっております。また、当日は、別子山地域と文化センター間の往復の大型バスも手配しますので、沢山の方にお越しいただければと思っております。

予算額は140万円です。

資料2 No.4 別子山診療所管理費

福祉センター内に別子山診療所を開設したことによる、主に新居浜市医師会への運営補助に伴う経費でございます。

予算額は、532万円で、財源として過疎債400万を充当する予定です。

平成23年度の実績といたしましては、診療日数49日に対し、330の方が受診をされております。

資料2 No.8 別子山地域バス運行費

本事業は、別子山地域住民の利便性及び交通手段の確保を図るため、別子山地区と市街地を結ぶ地域バスの運行でございます。

予算額は2,277万4千円です。財源として、県支出金600万円、過疎債1,010万円、別子山振興基金493万9千円、バス料金173万5千円を充当予定となっております。

資料2 No.16 別子山太鼓の森整備事業（平成24年度新規事業）

別子山地域の市有林で太鼓台のかき棒を生産いたします。市有林の有効活用と市民と森とのふれあいを創出し、森の魅力の再認識と交流人口の増大を期待するものです。平成24年度からの新規事業で、今年度は、太鼓台関係者に希望調査を行ったところでございます。30年間育成した後、伐採し太鼓台のかき棒として活用できればと思っております。

資料2 No.17 合併10周年記念市民交流事業

先ほどの合併10周年記念式典でご説明しましたように、記念イベント関係については、別子山地域で行うことになっております。

自然豊かな山間地である別子山地域の特産品や、観光資源に触れる体験型イベント事業

や、ステージイベント事業により、別子山の地域のよさ（宝物）を知ってもらうための事業で、別子山エリアを中心に夏1回、秋2回の3回に分け実施するものです。

夏は、別子山の木材を使った「別子山きこりんピック」や、「ヘリコプター体験飛行」などで、秋は、「史跡めぐり歩き」、「落ち葉プール遊び」など盛りだくさんの、別子山でしか体験できないイベントを企画しております。イベント内容の詳細につきましては、今後、設置されます実行委員会で決定することになっております。

予算額は500万円です。

資料2 No.18 別子山水道給水事業

本年4月から供用を開始する成、小美野・肉淵、瓜生野の3か所の給水施設維持管理費で、水道施設の利用者に安全な飲料水を安定して供給できるよう適正に維持管理するものでございます。

予算額は368万4千円。財源として、合併振興基金285万3千円、水道利用料83万1千円を充当する予定でございます。

資料2 No.19 別子山飲料水供給施設整備事業

これまでも御説明しておりますとおり、本年4月から瓜生野、小美野・肉淵、成の3か所については供用を開始いたします。床鍋については、建設予定地の所有者から借地同意が取れないため、休止となっております。

弟地給水区、保土野給水区については、個別処理施設として25年度より整備工事に着手する予定です。

筏津給水区については、弟地給水区からの配水を予定しております。

予算額は2億8,023万円。財源として、過疎債2億8,020万円、別子山振興基金3万円となっております。

資料2 No.20 別子山地区林道等開設事業

別子山林道開設は、保土野線開設事業、太田尾大湯線開設事業、豊後線開設事業、床鍋線開設事業の4路線ですが、平成25年度は保土野線開設工事を行います。

予算額は1,000万円、全額過疎債充当することになっております。

資料2 No.22 別子山地区市道整備事業

蔭地線及び大野線の2路線について、引き続き整備を行っていくものです。この2路線は、生活道路として、また県道のバイパス機能を持つ市道として整備しております。両路線とも、引き続き緊急性の高い箇所から順次整備してまいります。

予算額は3,500万円、全額過疎債充当することになっております。

資料 2 No.23 橋りょう維持修繕事業

別子山地域の既存橋りょうについて延命化を図り、道路網の安全性を確保するため、別子山地域の橋りょうの補修を計画的に実施するもので、平成 23 年度から、新規事業として実施しており平成 25 年度も別子橋の補修工事をいたします。

予算額は 2,250 万円、全額過疎債充当となっております。

資料 2 No.26 消防分団詰所整備事業

別子山消防分団については、肉淵詰所と瀬場車庫と成車庫を廃止し、新たに保土野に詰所を建設し、弟地と保土野の 2 箇所といたします。

平成 24 年度に実施設計を完了しており、平成 25 年年度内の完成予定となっております。

予算額は、6,190 万 9 千円で過疎債 6,190 万円を充当することとなっております。

次に『資料 3』新市建設計画掲載の別子山地区関連事業の一覧を御覧ください。

新市建設計画も平成 25 年度が最終年度ですが、掲載された事業につきましては資料 3 のとおり実施してまいりました。

平成 25 年度に実施いたしますものは、

4 近代化産業遺産保存活用事業、6 緊急通報体制整備事業、7 生き生きデイサービス委託事業、8 別子山診療所運営補助維持管理費、11 地籍調査事業、12 林道保土野線開設事業、18 別子山地域バス運行費、22 地球温暖化防止森林環境保全整備事業、23 別子山飲用水供給施設整備事業、25.26 別子山地区市道整備事業、27 県営事業負担金、31 消防団詰所整備事業の 13 事業ございます。

事業内容につきましては、先ほど御説明いたしましたものと重複もありますので省略させていただきますが、担当課と連携しながら、着実に実施してまいりたいと考えております。

以上で、平成 25 年度予算状況についての説明を終わります。

次に、『地域おこし協力隊』について御説明させていただきます。

合併 10 周年記念事業費の中のパネリストの中に、地域おこし協力隊の富田さんが来られるお話をさせていただきましたが、『地域おこし協力隊』について、簡単にご説明させていただきますと思います。

この事業は、総務省の事業でございまして、都市圏から地域に移り住む方に最大 3 年間支援するものでございます。

たとえば、都会を離れて地方で生活したい、地域社会に貢献したい、人とのつながりを大切にして生きていきたい、自然と共存したい、自分の手で作物を育ててみたい、など、そういった何かを見つけ出し、自分の居場所とし、地域の方々と手を取り合って、地域を

より元気にしていきたい。地域おこし協力隊は、そういった思いを仕事として実現できる可能性を大いに秘めた制度です。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住、定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持、強化を図っていくことを目的とする取組です。

今、都市に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた地方に注目しています。しかしながら、生活するためには仕事が必要です。

ただ、住んでくださいではなく、生活するために地域の魅力ある仕事をしながら地域に入っていただくのがこの制度です。

3年間その地域で仕事をしながら生活し、地域のよさを更に実感することで、その後も約7割の方が定住しているそうです。

昨年末に放送された「遅咲きのひまわり」で、高知県四万十市で撮影された地域おこし協力隊をメインにしたドラマがありましたが、視聴率が高く、注目されています。

裏面の写真は、実際の募集説明会の様子ですが、都市圏のハローワークの募集案内により集まった方々。親子で聞きにきている方もいて、真剣に地域からの説明を聞いていました。

このように子供連れの方に興味をもってもらえれば非常にありがたいと考えております。

次に、『元気な集落づくり応援団マッチング事業』について御説明させていただきます。

この事業は、県が主になってボランティアの登録団体企業、大学、NPO等を広く募集し、市が窓口となり、集落からの応援内容の希望を受け、登録団体に応援要請を行い、マッチングするものでございます。

県下で32の企業団体等の登録があり、新居浜市の企業の登録も多くありますので、活用いただければと思っております。

裏面には、平成24年度のマッチングの事業実施状況があります。清掃ボランティア的なものだけではなく、祭り、運動会等もこの事業を活用することができます。

このような制度も活用しながら、別子山の地域力が高まればと思っております。

以上、平成25年度予算状況等についての説明を終わります。

4.審議

【福田会長】

ありがとうございました。

ただいま御説明いただきました内容について何か御質問、御意見はございませんか。

【和田委員】

地域おこし協力隊について、別子山地域も合併後の10年間は、人口が減る一方で、地域

としての存続も難しい状況になるのではと心配しています。是非、地域おこし協力隊を派遣していただきたいと考えていますが、別子山にお迎えするとなると具体的にどうなるのですか。

【藤田総合政策課副課長】

その体制ができれば、県に働きかけて、別子山地域がこんなにすばらしい所だということで、その中で、こういう仕事をさせていただき、3年間はこういう待遇をいたしますというような形で、募集をかける必要があります。

【和田委員】

何らかの形で募集をかけていきたいと思っています。

別子山地域もお土産 1 つもない状態ですので、皆と協力しながらより良い地域をつくりあげていきたいと思っています。

【福田会長】

よろしいでしょうか。他にございませんか。

【筒井委員】

そのことに関連しまして、協力隊の内容がよく分からないのですが、たとえば別子山に来てほしいときは、別子山はこんなに良い所ですと、プレゼンみたいなものをするのですか。

【藤田総合政策課副課長】

この募集説明会は愛媛県が開催したもので、いろいろな方が集まって、その中で最終的に地域の魅力等のプレゼンをした中でマッチングをしていただくということになります。

【筒井委員】

別子山地域に来たいと思わせなければいけないのですね。

【藤田総合政策課副課長】

そのとおりです。ただ、その中でその方が地域にふさわしいかどうかについては、別子山地域の方にも入っていただいて、この方なら来てもらっても良いというような形になると思います。

まず、応募があるかどうかということになりますが。

【本田経済部長】

最終的には、継続性も必要で生活できなければいけない訳だから、そういうメニューをあらかじめ用意しておく必要があると思うのですが、募集する側と来ていただく側の両方でそれを考えていくのですか。

【関企画部総括次長】

双海町の例では、地域のいろいろなイベントを皆で企画する、或は担ってくれる人を東京の宣伝会社から来てもらっているみたいですが、そういう人が活躍できる状況を地域の人でつくっていただいたら、その人が地域の中に馴染んでいくことになってくるということです。

【本田経済部長】

3年間の間は、生活しなければなりませんよね。たとえば畑を借りられるかどうか等、いろいろなことが発生してくると思う。

【関企画部総括次長】

やり方はいろいろですね。

【筒井委員】

たとえば、旧別子の世界遺産にしたいというような思いはありますが、そういうものを行いたいから来てくださいというようなプレゼンをして、世界の別子山にしたいんだというように働きかけて、それが採択された場合には来てもらえるということですね。

【関企画部総括次長】

そうです。

1 昨年行った島根県の邑南は、レストランのシェフを地域おこし協力隊で招いたことがあります。

いろいろな手があるのではないのでしょうか。

【筒井委員】

やる以上は、地域がしっかりとしておかないといけないですね。

【藤田総合政策課副課長】

この式典に参加されると、富田さんの地域おこし協力隊に参加するまでの経緯や実際に地域に入ってから思い等か聞けますので、特に別子山地域の方にたくさん来ていただいてお話を聞いていただけたらありがたいです。

【関企画部総括次長】

富田さんが四国に来た理由は、東京に住んでいましたが、福島原発事故があつて汚染量の高い地域で暮らすのが忍びない、その影響のない四国の地を選んで家族を連れてやってきたという話をしていました。いろいろな背景はあるのかなと思います。

【和田委員】

たとえば、来年度提案すれば別子山地域でも可能性はあるということですか。

【藤田総合政策課副課長】

別子山地域として、どのような内容でどのような人を募集します、ということ地域で決めた中で募集をしていただければいいと思います。

【和田委員】

地域が提案すればいいのですね。

【関企画部総括次長】

一緒に東京かどこかへPRの呼び込みにお力添えをいただかないといけないかも知れません。

【福田会長】

他にございませんか。

【筒井委員】

地域バスの運行について、今年度中学生の3人が卒業しまして、全員県立新居浜南校に通学することになりました。地域バスで通学することになると思いますが、もっと地域住民が利用しやすいようなバスダイヤができないものかと思います。三島便との兼ね合いもあるとは思いますが、学生が朝の便で通学しても、お昼の便がない等がありますので、このところを検討していただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

【本田部長】

昼便の臨時2便が欲しいということですね。

【戸張所長】

臨時2便を運行するというについては、実質可能性ゼロとは言いませんが、現時点での利用客数が、1便について少ないという実績の中で、もう1便増やして利用客数が増えるのかということがはっきりしない状況の中、増便することはなかなか難しいことがござ

います。

【筒井委員】

無駄なバスを走らせるということではなく、三島便と新居浜便の全体をみた効率的な運行ができないものかと思うのですが。

【戸張所長】

三島便につきましては、平成 25 年度が最終運行となりますことから、もう一度新居浜便の運行形態、ダイヤ及び時刻について、もう一度考え直す丁度良い時期かも知れませんので、今後検討していきたいと思います。

【福田会長】

何年前に、四国中央市便を止めてでも、子供の通学の関係でお昼の便を増便してもらいたいと伝えたこともありました。

【本田経済部長】

トータルな話になってきますが、現在も臨時 2 便はありますよね。

【戸張所長】

観光シーズンには臨時 2 便を運行しております。

【福田会長】

通院されている人も、朝の便で病院へ行き、受診が終わってずっとイオンで座って待っていたという話も聞いております。

【本田経済部長】

せつかく 3 人とも南校に通ってもらえるということもありますから。昼便ができれば大分違いますか。

【福田会長】

病院を新居浜に変わるようにと言われても、昼便がないため、四国中央市の病院から離れられないと聞いております。

また、運転できなくなってくるお年寄りも増えてくることもあります。

【筒井委員】

新居浜の病院に通いたくても通えない状況にあると思います。

【福田会長】

その他に私から、17番の合併10周年記念のイベントの関係で、実行委員会を立ち上げるというお話だったと思いますが、別子山地域で実行委員会を立ち上げるということでしょうか。

【戸張所長】

はい。そうです。

【福田会長】

その実行委員会で各イベントを行っていくということですか。

【戸張所長】

まず、実行委員会を立ち上げていただきまして、その中で、こういうイベントが良いのではないかという、ある程度地域の皆様の意見を伺いながら作ったものがございます。それをたたき台にしていただき、必要でないもの、また増やしたらいいものを委員さんに再度吟味していただいて、予算の範囲内でいろいろなイベントを実施していただければと思っております。詳細につきましては、地域の皆様が自ら参加していただき、地域外からも参加していただいて実施できるようなイベントを別子山の委員さんに決めていただきたいと思います。

【本田経済部長】

実際、実施する時のスタッフは、また別途に募集したいです。

【戸張所長】

実行委員会を中心として、地域全体で協力していただき、市が協力していくことになってまいります。

【福田会長】

10周年記念イベントは、地域の住民はお客として参加できると勘違いしている人が多いと思います。もっと早くお知らせしておいた方が良かったのではないのかと思います。

【和田委員】

実は、去年の4月に河島翔馬くんのイベントを行った時に、前市長との話の中で、是非こういうイベントを続けてもらったら良いのでは、ということで、丁度来年は10周年記念になることもあり、予算組をして行ったら良いのではないですかという話の中で出てきたことです。ただ、もう少し早く立ち上げたら良かったとは思いますが、私も連合自治会

長の任期がこの3月で終わりということで、実行委員会の立ち上げが若干遅れたという経緯がございまして、4月に入って新しい連合自治会長が決まれば、そこからスタートしても夏からのイベントなら遅くはないかといったようなこととございます。

【本田経済部長】

予算も3月議会で議決されております。

逆に地域外の多くの人に来てもらえるように考えなければいけないと思っており、市のスタッフも合同でできるようになれば良いと思っております。

【福田会長】

その他にございませんか。

【筒井委員】

消防分団詰所整備事業ですが、平成25年度に建設していただけると聞いておりますが、工期はどのようになっているのでしょうか。

【藤田総合政策課副課長】

いまお聞きしておりますのが、6月に入札、年度内に完成と聞いておりますが、担当課に確認しておきます。

【筒井委員】

当初は、平成24年度の計画で平成25年度の早い時期に建てますというお話を聞いておりましたので、10月くらいに建設されるのかと思っておりますが、消防団で、冬の前に落成式もしなければいけないだろうということもありますので、教えてください。

【藤田総合政策課副課長】

はい。確認いたします。

5. その他

【福田会長】

第1番目の議題について、特にないようですので、議題2番目「その他」に移りたいと思います。

何か御意見等がございましたら、どなたからでも結構ですので、よろしく申し上げます。

【関企画部長】

今度行われる10周年記念式典でタイムカプセルを紹介する予定の別子山出身のこの4人

を皆さんはご存知でしょうか。連絡が必要なのですが。

【藤田総合政策課副課長】

この4人の方は、小学生の時にタイムカプセルに手紙を入れている4人です。できれば是非参加していただいて、今の別子山に対する思い等をお話していただけたらと思っております。

【筒井委員】

何らかの方法で連絡が取れると思います

【藤田総合政策課副課長】

是非よろしく願いいたします。

【筒井委員】

この審議委員会も今日で最後ということですが、合併後はいろいろな事を行っていただきました。でも、全部できている訳ではないと思います。筏津山荘の跡地をどうするのか決まっておられませんし、いろいろな諸問題も出てくると思います。地域審議会が終り、何の組織もなくなってしまうと、行政と住民が繋がる会がなくなってしまう。

地域審議会に代わる地域住民の意見が伝えられるような、組織を作っていかなければならないと思っております。そういう組織を作った場合に、市が取り上げてくれるのかどうか、また、このような組織を作ったらいいのではないかと、というようなことがあれば教えていただけたらと思っております。

【福田会長】

筒井委員さんの質問で返事はできるのでしょうか。

【田中企画部長】

新市建設計画期間が平成25年度までということもありますけれど、まだまだ別子山地域でやっていかなければならないことがあることは、私共も認識しておりますので、地域審議会に代わる何らかの組織を、市としても地元の御意見御要望等を受けられるような、協議の場ができるようにしていきたいと思っておりますので、その組織のあげ方も含めまして御相談いただけたらと思っております。

【本田経済部長】

地域の方の御要望もあるとは思いますが、行政側からも別子山地域に投げかけて、やり取りができる団体ができれば良いとは思っています。その場合の事務局を延長的に別子山支所

に置くとか、委員はどのような人を選出するのか等について、考えていただけたらと思います。

【筒井委員】

以前の勉強会の時にその話が出まして、いろいろな年代の人に委員になってもらえたら良いというような意見も出ました。地域にはそういう組織が必要だと思いますので、是非よろしくお願いいたします。

【和田委員】

新居浜市内はそういう組織はあるのですか。

【本田経済部長】

議員さんが地域の声を繁栄している形になっております。

【和田委員】

大島はどのようになっているのですか。

【本田経済部長】

特にそのような組織はありません。

【和田委員】

たとえば地域の代表である連合自治会の中で決めるのも一つの方法だと思います。

【本田経済部長】

市内で地域と話す場合は、連合自治会になりますが、公民館の運審委員会もあります。

【和田委員】

新居浜市内では、連合自治会がそういう役割をいちばん果たしておりますよね。

【本田経済部長】

そうですね。

【関企画部総括次長】

まちづくり校区集会の場も考えられます。

【和田委員】

まちづくり校区集会も続けて行うのですよね。

【田中企画部長】

まちづくり校区集会の場が地域の方にとってベストだと考えられるのであればそれでも良いのですが。

【和田委員】

市長さんも来られますので、その場で地域の意見を言っていただくのもありますよね。

【本田経済部長】

筏津の関係では、地域の方と相談させて欲しいこともあり、組織があればと思っております。

【関企画部総括次長】

まちづくり校区集会では、今年度から今までの一般的な形どおりではなく、各校区の自主性を出していただく形となっております。

【本田経済部長】

議員さんが市政報告会を行ったりする場合もあります。

【関企画部総括次長】

市議会基本条例が3月議会で制定され、いつ行われるかは分かりませんが、議員さんが市民の方と対話をするということで、市政報告会を行う可能性もございます。

【福田会長】

今後地域の検討課題として考えていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。他にございませんか。

6. 閉会

【福田会長】

特にございませんようですので、以上をもちまして「第17回新居浜市別子山地域審議会」を閉会いたします。

なお、今回の会で別子山地域審議会の役割を一応終えた訳ですが、これまでにこの審議会に御協力いただき、審議委員の皆様、行政の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

皆様には、長時間にわたり大変お疲れ様でした。
帰りは夜道となりますので、十分お気をつけてお帰りください。

以上を以って閉会した。

19時25分閉議

この議事録が正確であることを証するため、次に署名捺印する。

平成25年 月 日

第17回新居浜市別子山地域審議会

議事録署名人 委員 印

議事録署名人 委員 印